

製品名: RUNX1 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80972

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	RUNX1
別名	AML1; CBFA2; EVI-1; AMLCR1; PEBP2aB; AML1-EVI-1; RUNX1
遺伝子 ID	861.0
SwissProt ID	Q01196
免疫原	ヒト RUNX1 の合成ペプチド。

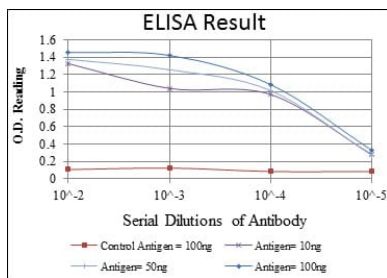
背景

コア結合因子 (CBF) は、多くのエンハンサーおよびプロモーターのコアエレメントに結合するヘテロ二量体転写因子です。この遺伝子によってコードされるタンパク質は CBF の α サブユニットを構成し、正常な造血の発達に関与していると考えられています。この

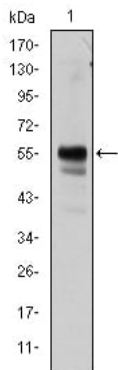
遺伝子が関与する染色体転座は十分に報告されており、いくつかの種類白血病との関連が報告されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つっています。(RefSeq 提供) 組織特異性: 脳と心臓を除くすべての組織で発現が認められます。最も高い発現レベルは胸腺、骨髄、末梢血です。

研究分野

画像データ



赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



Jurkat 細胞溶解物に対する RUNX1 マウス mAb を使用したウエスタン プロット分析。